



平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年11月13日

上場会社名 東洋エンジニアリング株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6330 URL <http://www.toyo-eng.co.jp>
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 石橋 克基
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 脇 謙介 (TEL) 047-454-1521
 四半期報告書提出予定日 平成24年11月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績(平成24年4月1日~平成24年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	108,312	74.4	1,548	△38.0	1,626	△12.9	420	△72.1
24年3月期第2四半期	62,094	△19.2	2,498	11.6	1,866	△26.6	1,508	29.9

(注) 包括利益 25年3月期第2四半期 △586百万円(—%) 24年3月期第2四半期 773百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	2.19	—
24年3月期第2四半期	7.86	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第2四半期	207,645	67,280	31.7
24年3月期	222,415	69,265	30.1

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 65,890百万円 24年3月期 67,046百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	6.00	6.00
25年3月期	—	0.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

24年3月期期末配当金の内訳 普通配当 5円00銭 記念配当(創業50周年記念配当) 1円00銭

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日~平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	270,000	71.0	7,500	40.4	7,000	37.2	3,500	△6.1	18.24

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社(社名) 、 除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期2Q	192,792,539株	24年3月期	192,792,539株
② 期末自己株式数	25年3月期2Q	928,305株	24年3月期	910,542株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期2Q	191,875,108株	24年3月期2Q	191,922,570株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続を終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) セグメント情報等	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10
4. 補足情報	11
(1) 受注実績	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間における日本経済は、震災復興需要等による底堅さが引き続き見られますが、世界経済の減速等を背景として生産、輸出が振るわず、全般的に低調に推移しました。世界経済においては、欧州の債務危機の長期化、失業率の高止まりや、米国の急激な財政緊縮が行われた場合の影響等の不確実性の高まりによる景気減速が、先進国から新興国にも波及し、中国、インド、ロシア、ブラジルなどにおいても経済成長が鈍化しており、景気の先行きは一段と不透明さが増しております。

当社グループの事業分野の中核であるプラントおよび産業設備に関する市場は、国内では、上記の日本経済の状況の下に低迷しており、厳しい受注環境が続いております。海外では、中東地域において、高い油価に支えられた設備投資が継続し、また、アジア、中南米等の新興国においても、経済発展や人口増加を背景として、エネルギー分野、社会インフラ分野において、成長が鈍化しつつも需要拡大期待による設備投資が続いております。しかしながら、中東地域のみならず、アジア、中南米においても、韓国および中国のコントラクターに加え、ユーロ安を背景とする欧州のコントラクターの攻勢が一段と高まっており、受注環境としては、熾烈な競争が常態化している状況にあります。

こうした状況の中、当社グループは、新興国市場に重点をおき、エネルギー、ハイドロカーボン、社会インフラの各分野ならびに当社が技術ライセンスを保有する肥料(尿素)の分野において営業活動を積極的に展開するとともに、資源開発(アップストリーム)案件への取り組み強化や、サービス型ビジネス(フィービリティスタディ、基本設計、フロントエンドエンジニアリングデザイン(FEED)、調達サービス、プロジェクトマネジメントサービス、コンサルティングサービス等)の拡大など業態変化への対応に努めました。また、イラクやサブサハラといった新地域での案件形成に注力しました。

以上の活動の結果、受注については、石油精製分野でベネズエラ向け大型製油所近代化プロジェクト、エネルギー関連分野でイラク向け包括技術サービス、マレーシア向けFLNG基本設計業務、更に石油化学分野でFEED案件を受注し、中期経営計画の基本方針の一つである「より上流の事業分野・業務分野への展開」の萌芽となる案件を獲得することができました。更に、化学肥料分野では、ボリビア向け尿素技術ライセンス供給等の案件を獲得いたしました。また、グループとしての総合力、競争力の強化を図った結果、トーヨー・エンジニアリング・インドア・リミテッドがインド向け化学品製造コンプレックスのEPC(設計・調達・建設)案件を受注いたしました。この結果、第2四半期累計期間における受注高は、640億円(前年同四半期比14.9%減)となりました。第3四半期以降につきましては、引き続き、化学肥料、石油精製、石油化学、エネルギー関連、社会インフラの各分野の大型案件の受注に向け注力してまいります。

一方業績面では、当第2四半期連結累計期間において、売上高(完成工事高)1,083億円(前年同四半期比74.4%増)、営業利益15億円(前年同四半期比38.0%減)、経常利益16億円(前年同四半期比12.9%減)、四半期純利益4億円(前年同四半期比72.1%減)となりました。

セグメントの業績は次のとおりです。

[EPC事業]

タイ向け発電設備、ベネズエラ向け肥料(尿素)製造設備、インドネシア向け肥料製造設備、ブラジル国営石油会社向けコンペルジェ製油所ユーティリティ設備、ブラジル海洋油田向けFPSO(浮体式海洋石油生産・貯蔵・積出設備)(MV23プロジェクト)等のプロジェクトの進捗に伴い、売上高は1,016億円(前年同四半期比84.8%増)を計上いたしましたが、海外子会社における一部プロジェクトの収支の悪化により、営業利益は9億円(前年同四半期比54.1%減)となりました。

〔IT事業〕

東洋ビジネスエンジニアリング株式会社において、他社開発ERPパッケージ製品を基に展開するソリューション事業および自社の独自開発ERPパッケージ製品に基づくプロダクト事業が進捗したことにより、売上高55億円(前年同四半期比2.5%減)、営業利益1億円(前年同四半期比472.0%増)となりました。

〔不動産賃貸・管理事業〕

株式会社テックエステートにおける千葉県習志野市商業施設賃貸事業や、その他住宅賃貸・管理事業などの事業収入を基盤として、売上高10億円(前年同四半期比20.6%減)、営業利益4億円(前年同四半期比0.3%増)となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末から147億円減少し、2,076億円となりました。これは有価証券が161億円、現金預金が69億円減少した一方、工事の進捗により、受取手形・完成工事未収入金等が45億円、未収入金が18億円、未成工事支出金が11億円増加したことなどによるものです。

負債については、未成工事受入金が80億円、借入金が50億円減少したことなどにより、前連結会計年度末から127億円減少の1,403億円となりました。

純資産については、配当金の支払等により、前連結会計年度末から19億円減少の672億円となりました。

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という)の残高は671億円で、前連結会計年度末から232億円減少しております。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、以下のとおりであります。

〔営業活動によるキャッシュ・フロー〕

営業活動によるキャッシュ・フローは、154億円の資金減少(前年同四半期連結累計期間は35億円の資金増加)となりました。その主な内訳は、未成工事受入金の減少80億円、仕入債務の減少18億円、および売上債権の増加51億円などによる資金の減少であります。

〔投資活動によるキャッシュ・フロー〕

投資活動によるキャッシュ・フローは、16億円の資金減少(前年同四半期連結累計期間は4億円の資金減少)となりました。主に投資有価証券の取得に17億円を使用したことなどによるものです。

〔財務活動によるキャッシュ・フロー〕

財務活動によるキャッシュ・フローは、61億円の資金減少(前年同四半期連結累計期間は6億円の資金減少)となりました。その主な内訳は、借入金の返済などによる資金の減少47億円、配当金の支払いによる資金の減少11億円であります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年3月期の通期の連結業績予想につきましては、平成24年5月15日の決算発表時に公表した業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税金等調整前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税金等調整前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果になる場合には、税金等調整前四半期純利益に一時差異等に該当しない重要な差異を加減したうえで、法定実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社および国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

これによる当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益および税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金預金	48,041	41,068
受取手形・完成工事未収入金等	35,832	40,374
有価証券	44,499	28,329
未成工事支出金	26,370	27,493
繰延税金資産	1,655	1,653
未収入金	14,472	16,328
その他	3,503	4,881
貸倒引当金	△3,530	△4,304
流動資産合計	170,844	155,824
固定資産		
有形固定資産		
建物・構築物	28,078	26,563
機械、運搬具及び工具器具備品	4,577	4,600
土地	17,608	17,577
リース資産	1,890	1,843
建設仮勘定	4	31
減価償却累計額及び減損損失累計額	△19,996	△19,008
有形固定資産合計	32,164	31,607
無形固定資産		
のれん	3,322	3,263
その他	3,081	2,930
無形固定資産合計	6,403	6,193
投資その他の資産		
投資有価証券	9,551	10,512
長期貸付金	4,575	4,571
繰延税金資産	361	588
その他	3,510	3,232
貸倒引当金	△4,995	△4,885
投資その他の資産合計	13,003	14,020
固定資産合計	51,571	51,821
資産合計	222,415	207,645

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	50,096	47,881
短期借入金	12,983	10,029
未払法人税等	355	1,414
未成工事受入金	46,164	38,131
賞与引当金	998	1,099
完成工事補償引当金	596	543
工事損失引当金	1,489	2,871
その他	5,263	5,879
流動負債合計	117,947	107,850
固定負債		
長期借入金	24,582	22,447
リース債務	913	778
繰延税金負債	5	9
退職給付引当金	5,314	5,088
修繕引当金	913	829
その他	3,471	3,359
固定負債合計	35,201	32,514
負債合計	153,149	140,365
純資産の部		
株主資本		
資本金	18,198	18,198
資本剰余金	20,759	20,759
利益剰余金	31,203	30,472
自己株式	△363	△369
株主資本合計	69,798	69,061
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	225	△131
繰延ヘッジ損益	△45	11
為替換算調整勘定	△2,931	△3,050
その他の包括利益累計額合計	△2,751	△3,170
少数株主持分	2,219	1,390
純資産合計	69,265	67,280
負債純資産合計	222,415	207,645

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
完成工事高	62,094	108,312
完成工事原価	50,270	95,829
完成工事総利益	11,824	12,483
販売費及び一般管理費	9,326	10,934
営業利益	2,498	1,548
営業外収益		
受取利息	149	314
受取配当金	100	116
持分法による投資利益	233	313
雑収入	237	311
営業外収益合計	721	1,056
営業外費用		
支払利息	492	535
為替差損	808	305
雑支出	52	138
営業外費用合計	1,352	979
経常利益	1,866	1,626
特別利益		
固定資産売却益	—	383
特別利益合計	—	383
特別損失		
投資有価証券評価損	—	448
特別損失合計	—	448
税金等調整前四半期純利益	1,866	1,561
法人税等	345	1,700
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	1,520	△138
少数株主利益又は少数株主損失(△)	12	△558
四半期純利益	1,508	420

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	1,520	△138
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△526	△357
繰延ヘッジ損益	4	57
為替換算調整勘定	△195	△159
持分法適用会社に対する持分相当額	△29	12
その他の包括利益合計	△746	△447
四半期包括利益	773	△586
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	869	1
少数株主に係る四半期包括利益	△95	△587

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,866	1,561
減価償却費	1,120	1,198
のれん償却額	92	276
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△144	665
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△111	△206
工事損失引当金の増減額 (△は減少)	521	1,380
災害損失引当金の増減額 (△は減少)	△73	—
受取利息及び受取配当金	△250	△431
支払利息	492	535
為替差損益 (△は益)	△28	0
持分法による投資損益 (△は益)	△233	△313
有形固定資産売却損益 (△は益)	△2	△384
投資有価証券評価損益 (△は益)	3	448
売上債権の増減額 (△は増加)	5,456	△5,104
未成工事支出金の増減額 (△は増加)	△5,502	△1,216
未収入金の増減額 (△は増加)	△232	△2,214
仕入債務の増減額 (△は減少)	△8,101	△1,853
未成工事受入金の増減額 (△は減少)	11,063	△8,016
その他	△1,839	△1,037
小計	4,096	△14,711
利息及び配当金の受取額	375	546
利息の支払額	△480	△544
法人税等の支払額	△456	△738
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,535	△15,447
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の純増減額 (△は増加)	607	△299
有形固定資産の取得による支出	△518	△276
有形固定資産の売却による収入	17	406
無形固定資産の取得による支出	△359	△559
投資有価証券の取得による支出	△277	△1,777
投資有価証券の売却による収入	33	32
その他	51	861
投資活動によるキャッシュ・フロー	△445	△1,612
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	1,601	△2,451
長期借入れによる収入	1,392	—
長期借入金の返済による支出	△2,316	△2,288
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△328	△257
配当金の支払額	△959	△1,151
その他	△59	△39
財務活動によるキャッシュ・フロー	△670	△6,188
現金及び現金同等物に係る換算差額	50	△8
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	2,470	△23,258
現金及び現金同等物の期首残高	87,337	90,452
現金及び現金同等物の四半期末残高	89,807	67,194

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

	EPC事業 (百万円)	IT事業 (百万円)	不動産賃貸・ 管理事業 (百万円)	合計 (百万円)	調整額 (百万円)	四半期連結 損益計算書 計上額 (百万円)
売上高						
外部顧客への売上高	55,028	5,691	1,374	62,094	—	62,094
セグメント間の内部 売上高または振替高	107	11	115	234	△234	—
計	55,135	5,703	1,489	62,328	△234	62,094
セグメント利益	2,010	28	460	2,499	△1	2,498

(注) 1 セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去によるものであります。

2 セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失またはのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

	EPC事業 (百万円)	IT事業 (百万円)	不動産賃貸・ 管理事業 (百万円)	合計 (百万円)	調整額 (百万円)	四半期連結 損益計算書 計上額 (百万円)
売上高						
外部顧客への売上高	101,670	5,550	1,091	108,312	—	108,312
セグメント間の内部 売上高または振替高	82	14	124	220	△220	—
計	101,753	5,564	1,215	108,533	△220	108,312
セグメント利益	923	163	462	1,548	△0	1,548

(注) 1 セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去によるものであります。

2 セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失またはのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

4. 補足情報

(1) 受注実績

当第2四半期連結累計期間におけるEPC事業およびIT事業の受注実績は次のとおりであります。

期別	工事別	期首繰越 工事高 (百万円)	期中受注 工事高 (百万円)	計 (百万円)	期中完成 工事高 (百万円)	次期繰越 工事高 (百万円)
前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	海外					
	化学肥料プラント	55,473	14,670	70,144	4,542	64,576
	石油化学プラント	14,779	22,681	37,461	7,560	29,256
	石油精製プラント	19,466	9,089	28,556	9,207	16,536
	エネルギー関連プラント	94,122	934	95,057	20,226	73,350
	一般製造設備関連	19,170	3,445	22,616	1,213	21,073
	IT関連	97	106	203	103	97
	その他	293	1,237	1,531	550	980
	小計	203,403	52,166	255,569	43,405	205,870
	国内					
	石油化学プラント	823	6,180	7,003	863	6,094
	石油精製プラント	518	586	1,104	625	472
	エネルギー関連プラント	6,870	2,148	9,019	624	8,382
	一般製造設備関連	8,968	4,990	13,958	6,263	7,695
IT関連	3,300	5,669	8,970	5,588	3,341	
その他	809	3,558	4,367	3,350	1,014	
小計	21,290	23,134	44,424	17,315	27,001	
合計	※△8,193 224,693	75,300	299,994	60,720	※△13,585 232,872	
当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	海外					
	化学肥料プラント	74,762	6,231	80,993	15,271	64,562
	石油化学プラント	71,795	17,820	89,616	17,398	71,060
	石油精製プラント	9,952	17,605	27,558	5,416	21,135
	エネルギー関連プラント	85,812	3,164	88,977	33,722	53,426
	一般製造設備関連	20,872	1,308	22,181	8,782	12,607
	IT関連	120	196	316	183	132
	その他	65,117	1,926	67,044	7,331	57,383
	小計	328,433	48,253	376,687	88,106	280,308
	国内					
	石油化学プラント	6,293	1,233	7,526	4,216	3,265
	石油精製プラント	1,585	4,012	5,598	1,434	4,163
	エネルギー関連プラント	8,279	1,093	9,373	668	8,692
	一般製造設備関連	10,554	811	11,365	4,518	6,433
IT関連	3,035	5,370	8,406	5,367	2,926	
その他	938	3,301	4,239	2,909	1,329	
小計	30,687	15,822	46,509	19,114	26,811	
合計	※△1,138 359,120	64,076	423,196	107,221	※△12,626 307,120	

(注) 1 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しており、消費税等は含まれておりません。

2 期中完成工事高は、外貨建受注工事高のうち期中完成工事高に係る為替差分(前第2四半期連結累計期間5,258百万円、当第2四半期連結累計期間5,063百万円)を控除しております。

3 次期繰越工事高は、前期以前に受注した工事の契約変更等による調整分(前第2四半期連結累計期間1,142百万円、当第2四半期連結累計期間3,792百万円)を控除しております。

4 ※印は、外貨建契約に関する為替換算修正に伴う減額を示しております。